

2022年度事業計画

(2022年4月1日～2023年3月31日)

特定非営利活動法人こども遊学館市民ステージ

【特定非営利活動に係る事業】

釧路市から委託される遊学館事業を中心として、こども遊学館がたくさんの市民が活躍する施設となるよう自主事業も同時に展開します。

1. こども遊学館(委託事業) 【指定管理 第5期 1年目】

1 施設の管理運営の基本方針

釧路市こども遊学館の管理運営については、「学びと遊びの融合」「市民の生き生きとした参加」という二つの大きな理念に基づき、この市民共有の財産を十分に生かすべくできるだけ多くの市民の意見等を得ながら円滑な運営を図るために常に進化する組織体系作りを押し進めます。

その管理運営を充実発展させるため、これまでに以下の〔10年目標〕ならびに〔3つの基本方針〕を定め、それに基づいた取り組みを進めてきました。今後は、新たに定めた、より具体的な〔新指定管理期間の重点項目〕を掲げ、「いつでも・どこでも・だれもが」体験できる施設としての事業を考察し、ワークショップ等を含め多様な事業展開を行い、次代を担うこどもたちの育成に努めます。

そのために、市民の誰もが事業運営に参画できる環境づくりに積極的に取り組み、市民とこどもたちとの交流を押し進め、こどもたちが多様な人々との交流の中で成長することの手助けをし、次代を担う人材の育成にも努めます。

〔10年目標〕 2027年の「こども遊学館」に向かって

くしろの豊かな自然と文化を愛し、「むかし」を知り、「いま」を感じ、「みらい」を創る、元気で明るい心豊かなこどもたちを育みます。そのために、地域の力を結集する拠点となるよう、新しいことにチャレンジし続けます。

〔3つの基本方針〕 10年目標を達成するための行動指針

1. 「みる・ふれる・かんがえる」を通して、人生を豊かにする遊びと学びの体験を提供します。
2. 安全・安心で夢中になって楽しく遊び、学べる、「楽しかった、また来たい」と思えるこどもたちの居場所を提供します。
3. 多様な一人ひとりが生き生きと活躍し、つながりあえる機会を提供します。

〔新指定管理期間の重点項目〕

- ・ほんもの体験など五感を通じた体験の拡充を図ります。
- ・ターゲットを明確にした事業を展開し、利用拡大につなげます。
- ・既存の事業内容にとらわれず、新たなことに挑戦します。
- ・楽しく学び合うことで関わる人々と共にスキルアップします。
- ・多様なつながりによって、持続可能な協働と共創を実現します。

2. 管理業務について

管理業務にあたっての基本的な運営方針は、以下のとおりです。

- (1) 施設利用者の安全確保を第一とします。
- (2) 公の施設であることを念頭において、公平な運営を行うこととし、特定の団体等に有利あるいは不利になる運営をいたしません。
- (3) 効率的・効果的に運営を行い、施設の効用を最大限に発揮するほか、適正な収入の確保と経費の節減に努めます。
- (4) 釧路市内にある社会教育施設との連携を図った運営を行います。

- (5) 適切な広報を行うなど、施設の利用促進を積極的に行います。
- (6) 利用者にとって快適な施設であるように努めます。
- (7) 施設設備及び備品の維持管理を適切に行います。
- (8) 施設の設置目的をより効果的に達成するため、必要に応じ、魅力ある自主事業を実施し、市民サービスの向上に努めます。
- (9) 管理業務において取り扱う個人情報の保護を徹底します。
- (10) 省エネルギーや3R活動など、環境に配慮した運営を行います。
- (11) 市民協働の管理運営並びに市民参加型の事業の実施に努めます。

3. 事業運営等について

上記までの管理運営方針と内容とともに、釧路市こども遊学館条例などの法令に従い、事業運営を以下のセクション別を実施していきます。

(1) 市民協働と市民ボランティア

事業展開において、こどもたちに様々な体験ができるよう市民が持つノウハウの活用と、市民が間接、直接的に関わるような環境整備に努めます。

そのために、市民の力の活用は重要であり、特に現在登録されている個人約170名のボランティアと企業・団体ボランティア「遊学館サポーターズ」16団体の持続可能性をより引き出すために、魅力ある施設作りに努めます。

(2) 小中学校との連携事業

旧釧路市青少年科学館にて実施されていまして市内の全小学6年生を対象とした実験学習(サイエンスルーム)を、実施してまいります。これは今指摘されている理科離れの解消に努めると共に、学校教育現場での限られた時限の中で実施することができなかった理科教育を実施し、より身近に科学等を理解することに繋がるものと考えております。

また、平成20年度より行っている地域の小中学校教員との連携である「道東科学教育支援ネットワーク(Do To ねっと)」事業については、宇宙航空研究開発機構(JAXA)等の外部からの評価も高く、引き続き展開していきます。

(3) 入園前及び就学前児童等の事業

就学前の幼児を対象とした事業「読み聞かせ」「親子遊び」等々を毎月定期的を実施します。また、団体利用促進事業として、保育園・幼稚園対象の工作や遊びのワークショップを実施する集中期間も設けます。

(4) 宇宙教育及び天文普及等に関する事業

こども遊学館事業では、開館時より宇宙教育と天文普及に関する事業を大きな位置づけとして取り組んでまいりました。今後も宇宙や天文をテーマにした各種イベントを企画実施します。具体的には、プラネタリウム活用事業、移動天文車活用事業、サイエンスルームにおける天文教育授業などを実施します。

(5) こども遊学館アドバイザー委員会について

広く学識経験者や市民から運営に関する意見を求め、速やかに館運営に反映できるよう、開館当初よりこども遊学館アドバイザー委員会を設置し、体制を整えてきました。

こども遊学館アドバイザー委員会の運営にあたっては、速やかに対応し、管理運営に向けての意見、さらに各種事業への意見・助言等、事業運営に先送りすることなく積極的に反映します。

(6) こども遊学館の未来ビジョンの検討と試行

これまで培ってきた遊学館の魅力を維持し、効率的で持続可能なこれからの施設運営の在り方を探るため、アドバイザー委員会を核として、広く市民や有識者の意見を取り入れる形で、次に示す釧路市こども遊学館管理運営のための未来ビジョンを策定したいと考えています。

令和4年度より3か年計画で実施し、令和6年度末にこども遊学館未来ビジョンとしてまとめます。開館20年目には未来ビジョンを実現するための行動指針に沿った運営を試行し、こども遊学館の設置目的に沿ったより未来志向の魅力ある社会教育施設としてのあり方を模索し続けます。

4. 自主事業の実施

釧路市こども遊学館利用者の利便性向上のため次の事業を実施いたします。

(1) 飲料水自動販売機の設置

施設利用者の利便性向上のため飲料水自動販売機を設置します。

この自動販売機の設置に際しましては、行政財産の目的外使用許可を受け、目的外使用料を支払い、利益の50%を釧路市教育委員会に還元します。

(2) 自主事業

施設の利活用と、市民ニーズに応じた多様なサービス提供を展開できるよう、独自性のある自主事業を毎年検討していきます。特定非営利活動促進法に基づくその他の事業実施に至る場合には、事前に釧路市教育委員会と協議いたします。

5. その他

2019年からの新型コロナウイルス感染による北海道の「新北海道スタイル」安心宣言およびガイドラインに基づき、感染予防対策を講じます。そのため、職員・来館者・地域社会への感染拡大を防止しながら、業務を継続するために、以下の基本方針を定めます。

- (1) 事業を実施する際には、北海道および釧路市の方針に準拠し、コロナ対策を講じる。
- (2) 管理運営および事業実施に関する詳細については、公益財団法人日本博物館協会のガイドラインに準拠する。
- (3) 来館者が安心して施設を利用できるよう、館内共用部分の定期的な消毒作業を行う。
- (4) 地域の感染状況なども踏まえて、事業計画は定期的に見直しを行うものとする。状況によっては、開催方法の変更や、中止なども検討する。
- (5) 条件が整う場合は、打合せや会議をウェブ会議にて行う。

このように、2022年度は、感染予防対策の徹底とこれまで蓄積してきたリソース（資源）を活用しながら、変化する社会情勢や来館者ニーズを反映させることで、常に新しさと驚きのある事業展開と、将来につながる持続可能な事業運営の在り方を探っていきます。

【事業計画一覧】

事業区分		各事業区分の考え方	
1	特別事業	話題性のある企画を連続休暇や季節に合わせて開催し、遊学館を広くアピールするとともに、市民に親んでもらうことを目的とした、比較的大型の事業活動。 日常では、なかなか経験できない遊びの体験や知識を深めるきっかけ作りの場とし、館全体を利用した大掛かりな活動の展開や企画展示を実施します。	
	実施予定事業	ゴールデンウィークイベント	年1回 「木のおもちゃ」を展示するなど、幅広い世代が一緒に楽しめるイベントを実施します。
		宇宙月間	年1回 宇宙の日を中心とする宇宙月間（9月）に、宇宙に親しむ一連のイベントを実施します。
		遊びんピック	年1回 遊びやゲームを盛り込んだ、こどもたちが主体的に参加できるイベントを実施します。
		クリスマス月間	年1回 クリスマスツリーやイルミネーションの点灯をはじめとしたクリスマスを楽しむイベントを実施します。
	とり+かえっこ	年1回 お仕事体験やワークショップなどのさまざまな体験活動を交えた、おもちゃ交換イベントを実施します。	

事業区分		各事業区分の考え方	
2	通常事業	遊学館の機能を十分に活用して、利用者が満足できる内容を日常的に提供する事業活動。 「いつ来ても新しい出会いがある遊学館」を実現するために、いつでも参加可能なプログラムを整備し、科学展示や遊具を大いに活用した体験活動を提供します。また、幅広い年齢層の利用者が満足できるよう内容づくりに配慮し、世代を越えた交流の場ともなるよう広い活動を目指します。	

実施予定事業	体験展示運営	毎日	館内の展示物や遊具・絵本などの書籍、屋内砂場などを活用し、様々な遊びと学びの体験を提供します。
	伝承遊び	毎日	けん玉・こま・折り紙など昔遊びやごっこ遊びなどの環境を整え、定期的にこどもたちに昔遊びを伝承します。
	工作遊び	毎日	毎日時間を設定し、簡単な紙工作やリサイクル工作などを行います。
	サイエンステーブル	毎日	だれもが気軽に参加できる実験や、身近な材料で取り組むことができる科学工作などを行います。
	プラネタリウム通常投影	毎日	プラネタリウムでの番組投影および最新の天文トピックスや日々の天文現象の説明、季節の星空解説を行います。
	サイエンスショー	毎週	市民が科学に興味を持てるように、さまざまな科学実験を分かりやすく楽しいショー形式で行ないます。

事業区分		各事業区分の考え方	
3	定期的事業	<p>定期的に一定の形式で開催し、遊学館の定番事業として市民に定着することを目的とした事業活動。</p> <p>「遊び」や「学び」に関する特定のプログラムを定期的に企画実施することで、市民の間に遊学館の存在が定着するよう努め、遊学館の固定ファンやリピーターの確保に努めます。</p> <p>豊かな感性と想像力および知的好奇心を高め、科学する心を育むための工夫を行います。</p>	
実施予定事業	工作教室	年10回程度	対象や分野を幅広く設定し、様々な道具を利用した工作や多彩で豊富な素材の造形・科学工作活動を指導します。
	サイエンス・ラボ	年6回程度	展示室を活用したどなたでも気軽に科学技術に触れられる科学体験を提供します。
	実験教室	年4回程度	展示物の理解を深めたり、自然科学や科学技術について学んだりすることができる実験教室を行います。
	成人楽集	年3回程度	成人を対象とした科学実験教室、工作教室等を行い、幅広い世代が遊学館を利用できる機会を創出します。
	親子教室	年10回程度	家庭でもできる実験や工作、乳幼児と保護者のための親子体操や歌遊び、遊具を使った遊び等を実施します。
	読み聞かせ	月6回程度	絵本や紙芝居の読み聞かせ会を定期的に行います。また、平日には乳幼児をもつ親子対象に絵本に触れる機会を提供します。
	室内大型砂場遊び	年5回程度	砂場での遊びを豊かにするため、遊具を設置します。また、定期的に特別なおもちゃの提供や遊びの場を設定します。
	鑑賞会	年2回程度	こども向けの人形劇やコンサートなど、家族でも楽しめる公演を提供します。
	プラネタリウム特別投影	年4回程度	プラネタリウムコンサートやゲスト解説者によるプラネタリウム投影など、毎回、通常投影とは異なった魅力ある内容で行ないます。
	プラネタリウム番組制作	年4回程度	プラネタリウム通常投影におけるオリジナル番組（四季）、実験学習や学校団体に利用する理科学習の内容を含んだ学習番組などを市民協働で制作します。
	講演会	年1回程度	館外の専門家を招き、市民の関心のある多彩なテーマで講演会を行います。
企画展示	随時	天文情報や科学情報、ボランティア活動の紹介、こどもたちの絵画や工作作品などを展示します。	

事業区分		各事業区分の考え方	
4	移動天文車活用事業	市民が宇宙や天文学と慣れ親しむ機会を広く提供していくために、移動天文車「カシオペア号」を活用して、天文分野等の本物体験・科学知識の普及を行なう事業活動。 市民を対象とした天体観測会などの宇宙や天文をテーマとしたイベントを企画実施します。	
	実施 予定 事業	太陽観測会	年5回程度 定期的に昼間の天体観測会として太陽の観測会を行います。 市民が自由に参加できるようにします。
		天体観測会	年5回程度 定期的に天体観測会「星空キャラバン」を行います。市民が自由に参加できるようにします。
		出張天体観測会	随時 (年10回程度) 釧路市内の学校やこども会、町内会など団体の要請に基づき、出張して天体観測会「星空☆宅配便」を行ないます。
天体観測学習	随時 (年5回程度) 釧路市内の小中学校からの要請により、授業の一環として移動天文車を活用した天体観測を実施します。		

事業区分		各事業区分の考え方	
5	春・夏・冬休み事業	こどもたちの長期休暇に合わせて、充実した内容のメニューを盛り込んだイベントを開催する事業活動。 こどもたちの多様な期待に応える楽しいプログラムを企画実施するとともに、自由研究の支援ともなる教室や時間をかけて取り組める活動を展開します。また、家族で楽しめる長期休暇ならではの内容を実施します。	
	実施 予定 事業	春休み企画	春休み期間 短い春休みを充実して過ごせるような各種教室、学びと遊びのイベントを実施します。
		夏休み企画	夏休み期間 夏休みという長期休暇を利用して来館される家族などを主な対象とし、こどもから大人まで一緒に楽しめるイベントを企画・実施します。
		冬休み企画	冬休み期間 釧路の寒い冬でも楽しめるイベントや、幅広い世代で楽しめる工作や遊びを展開します。

事業区分		各事業区分の考え方	
6	季節事業	季節の特色を活かし、こどもたちが自然と文化に触れ親しみ体験できる、特定期間の事業活動。 自然や伝統を意識する機会が少なくなっている現代のこどもたちに、自然のすばらしさを伝え、日本に古くから伝わる行事を体験できるように季節に応じたイベントを実施します。	
	実施 予定 事業	自然工作工房	年1回程度 自然素材を用いた工作教室を行います。
		自然観察会	年1回程度 釧路近郊の公園などで自然観察会を行います。
		七夕祭り	年1回 七夕の時期に、七夕にちなんだワークショップを実施します。
		ひな祭り	年1回 ひな祭りの時期に、ひな祭りにちなんだワークショップを実施します。

事業区分		各事業区分の考え方	
7	ファンクラブ事業	より本格的な学習ニーズに応えていくとともに、関わりの深い利用者層の育成を目的として、ファンクラブを設置し、継続的な活動を通して、段階を追ったプログラムを提供し、利用者との繋がりを深めていく事業活動。 継続的に活動する中で利用者との信頼関係を築き、遊学館への思いを深めてもらうことで、長期にわたっての繋がりを築きます。	
実施予定事業	ファンクラブ教室	年6回程度	ファンクラブ会員を対象に、親子、小学校低学年、小学校中学年以上など対象を明確にし、それらの年代に合わせた科学実験教室、工作教室などを行います。
	ファンクラブ運営	随時	ファンクラブを組織し、運営・維持します。

事業区分		各事業区分の考え方	
8	市民協働事業	市民が主役となって事業展開していくために必要な市民ネットワークを構築し、活動の場の提供および活動の支援を積極的に行い、広く開かれた市民協働を展開する事業。 地域文化の活性化と発展、および遊学館で提供するサービスの質の向上を目的とした、市民および他団体、施設、企業等との連携を行います。また、様々な研修を実施し、多様な一人一人が生き生きと活躍できる機会を提供し、多世代交流を推進し地域文化の活性化と継承を支援します。	
実施予定事業	ボランティア募集説明会	毎月	ボランティア活動に関するオリエンテーションを行います。また、遊学館でのボランティア活動を始めるにあたり必要な活動方法やルール、安全管理や接遇マナーも含めたボランティア実務を研修し、誰でも容易に活動へ参加できるよう支援します。
	ボランティア交流	毎月	遊学館で活動するボランティアおよびスタッフが交流を深められるよう、交流会の開催や通信紙の発行を行います。
	ボランティア活動支援	随時	円滑にボランティア活動が行えるように、ボランティア活動保険への加入などの環境整備や、各種事業活動のコーディネートなどを行います。
	ボランティア研修	随時	来館者の安全を守る安全管理法、救命救急法、災害時の対応や、より良いサービスを提供するための接遇マナー、館内案内など、ボランティア活動に必要な一般的基礎知識を学びます。また、活動への積極的な参加を促し、活動を楽しめるよう、個々のニーズに応じて、様々な知識や技術を学ぶ研修会を行います。
	地域組織連携	随時	遊学館の事業をより多彩にするため、地域の団体、サークル、企業、市民組織などと連携します。
	宇宙少年団活動	随時	宇宙少年団活動を、地域と連携して実施します。
	天文指導員養成講座	年8回	地域での天文普及活動のリーダーとなる人材を育成する教室を開催します。
	広場活用	随時	遊学館のさんさん広場や前庭の自由で開放的な空間を活用し、釧路シビックコア地区およびその周辺地区の活性化に寄与します。

事業区分		各事業区分の考え方	
9	連携支援事業	地域のこども関連施設、学校、高等教育機関、社会教育施設等と連携して子どもたちを育成し、また、子どもたちの指導を担うリーダーの活動を支援する事業活動。 地域の教育機関との連携支援体制を強化し、遊学館の設備やノウハウを存分に活用した各種研修会や実習などを実施します。	
	実施予定事業	サイエンスルーム	(市内全小学6年生) 釧路市内の全小学校6年生を対象に、実験教室を行います。また、天文学習としてプラネタリウム学習番組を投影します。
		校外学習支援	随時 釧路市内の小中高等学校の総合学習や社会見学などの学習行事について、施設案内、質問対応、体験メニューなどを行い、効果的な学習が行えるように支援します。
		こども関連施設・教育機関支援	随時 幼稚園・保育園・認定こども園や学校、児童館などの指導者に対する研修を開催し、活動の支援を行います。また、授業や教育活動を行うために必要な物品の貸し出しを行います。
		教育機関活動支援	随時 高等専門学校や大学などからの依頼により、インターンシップ生や博物館学芸員実習生などの受け入れや、効果的な教育活動が行えるような支援を行います。
地域施設間連携	随時 社会教育施設や生涯学習施設など地域の諸施設と連携した事業を展開します。		

事業区分		各事業区分の考え方	
10	調査研究活動・スキルアップ活動事業	遊学館の事業活動を豊かにし、利用者へ提供するサービスの質を向上させるための調査研究や研修活動。 子どもたちに提供する遊びや学びをより豊かなものとするために、研究機関や関連組織と連携することで、先進的なプログラム開発等を行います。また、宇宙航空研究開発機構（JAXA）や国立天文台、中央大型児童館などへ職員を派遣し技術や知識の向上を図ります。	
	実施予定事業	児童図書・科学図書等整備	随時 学習・天文・育成・ボランティアの各分野において専門性を高めるために必要な各種専門誌の購入、書籍の整備を行いません。
		調査研究活動	随時 より良いサービスを提供するために、関連分野の動向や最新情報を調査・研究します。その成果を利用者へのサービスに反映し、さらに専門誌等へ公開します。
		教材開発	随時 展示物の新規開発や、展示物を活用した教材の開発を行います。継続して魅力ある各種教室、講座等を開催するため、新しい教材教具等も開発します。
		職員研修	随時 利用者に対して質の高いサービスを提供し、職員自身の資質を高めるために、専門講師を招いた研修会等を内部で実施し、人材育成を効果的に行います。
		派遣研修	随時 JAXA や関連学会等、外部に職員を派遣して知識と技術を向上させ、提供するサービスの質を高めます。
安全管理研修	年2回 救命救急法や災害時の対応などを学び、安全で快適な遊学館利用を徹底します。		

事業区分		各事業区分の考え方	
11	利用推進事業	<p>利用者の実態を重視したよりよい遊学館を目指すための調査および広報活動。</p> <p>利用者とのコミュニケーションを図りながら、利用者の動向やニーズの把握に努めるとともに、多彩なメディアを活用した広報を行ないます。また、修学旅行や生涯学習などの学習ニーズにも積極的に応じ、団体の誘客も推進します。</p>	
	実施 予定 事業	団体利用推進	<p>随時</p> <p>市内の幼稚園・保育園・認定こども園や児童館を対象とした特別体験メニューを提供します。また、修学旅行や遠足、一般団体などを対象とした体験メニューを整備し、提供します。</p>
		マーケティング活動	<p>随時</p> <p>利用者および市民の動向をアンケート等で調査し、ニーズを把握します。その結果を、館運営・事業活動に反映し、利用者の満足度をさらに高め、また新規利用者を開拓します。</p>
		広報	<p>随時</p> <p>最新情報や活動成果をポスターやチラシ、ホームページ等に掲載し、市民に発信します。また、報道機関などへの情報提供・発信も積極的に実施します。</p>
		移動遊学館	<p>随時</p> <p>遊学館のPRのために、市内各所等に必要に応じて出向き、工作や実験、遊びを提供します。</p>
		ミュージアムショップ活動	<p>毎日</p> <p>「持ち帰ることのできる遊学館」をコンセプトに、来館者へ教育グッズをはじめとした販売活動を行います。</p>
		おもちゃの病院	<p>毎週</p> <p>釧路ボランティアサークル「おもちゃのお医者さん」との協働でおもちゃの修理活動を行います。</p>

2. 自主事業

(1) 遊学館各事業とのタイアップ事業

天文学宇宙検定（5/29 開催 市民ステージ後援）サイエンス屋台村、ジオ・フェスティバル、などの特別事業や企画事業への参画やタイアップの企画、実施

(2) 出前遊学館

市内および近隣市町村での「出張天体観測会」「サイエンスショー」「簡単工作」「施設体験展示」などの出前事業の企画・実施

(3) 支援事業

青少年の健全育成に係わる団体やボランティアへの支援および連携、協働事業の実施

(4) 会員、ボランティアや市民向けの研修・交流事業

ワークショップ・セミナー、見学会などスキルアップの場を企画、実施

3. ミュージアムショップの運営

4. 組織体制の強化

(1) 会員の募集および活動の活性化

(2) これからの遊学館と市民ステージの姿を、会員と共にデザインする作業

(3) 会員の事業参画推進のため、年間パスポートの配布

5. 広報活動の充実

(1) ホームページの充実

(2) 会員への情報発信、コミュニケーションの強化

6. その他

(1) 厚労省のキャリアアップ助成金制度等を活用し、雇用形態の改善を図る

(2) ICT（情報通信技術）を活用し、業務の効率化・改善を推進